

政策: 10. 高齢者ができる限り経済的に自立できるよう、所得確保の仕組みの整備を図ることにかかるコストの状況

(所管: 厚生労働省、一般会計、組織: 厚生労働本省、担当部局: 年金局)

(年金特別会計業務勘定、基礎年金勘定、国民年金勘定、厚生年金勘定)

1. 政策にかかるコスト 53,086,233 百万円

(単位: 百万円)

区 分	人件費	賞与引当金繰入額	退職給付引当金繰入額	基礎年金給付費	国民年金給付費	厚生年金給付費	福祉年金給付費	国家公務員共済組合連合会等交付金	補助金等	委託費等
I 人にかかるコスト	6,707	5,746	336	625	-	-	-	-	-	-
II ①物にかかるコスト	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②庁舎等(減価償却費)	292	-	-	-	-	-	-	-	-	-
III 事業コスト	53,079,161	(-)	(-)	(-)	22,975,869	465,167	23,682,636	24	4,696,281	124,857
(1) 老後生活の経済的自立の基礎となる所得保障の充実を図ること	53,079,161	(-)	(-)	(-)	22,975,869	465,167	23,682,636	24	4,696,281	124,857
コスト計(I + II + III)	53,086,233	5,746	336	625	22,975,869	465,167	23,682,636	24	4,696,281	124,857

(単位: 百万円)

区 分	独立行政法人運営費交付金	庁費等	その他の経費	減価償却費	貸倒引当金繰入額	資産処分損益	(参考) 決算額
I 人にかかるコスト	-	-	-	-	-	-	-
II ①物にかかるコスト	-	-	-	77	-	△ 6	-
②庁舎等(減価償却費)	-	-	-	292	-	-	-
III 事業コスト	295,659	39,748	67,967	7,863	555,427	-	87,166,061
(1) 老後生活の経済的自立の基礎となる所得保障の充実を図ること	295,659	39,748	67,967	7,863	555,427	-	87,166,061
コスト計(I + II + III)	295,659	39,748	67,967	8,234	555,427	△ 6	-

(参考) 自己収入 42,215,118 百万円

当該政策にかかる自己収入については、年金特別会計の保険料収入33,885,582百万円。

拠出金収入6,678,219百万円。

徴収金収入760,714百万円。

納付金収入758,234百万円。

積立金運用収入1,827百万円。

その他収入130,540百万円。

2. 政策にかかるストック情報(主な資産等)

(単位:百万円)

区 分	ストック内訳									
	未収金	未収収益	未収保険料	前払費用	運用寄託金	貸倒引当金	土地	立木竹	建物	工作物
物にかかるコスト	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-
庁舎等	5,963	-	-	-	-	-	3,689	36	2,088	149
(1) 老後生活の経済的自立の基礎となる所得保障の充実を図ること	△ 11,875,432	664,554	457	3,710,387	0	112,693,217	△ 1,192,780	3,308	-	-
合 計	△ 11,869,364	664,554	457	3,710,387	0	112,693,217	△ 1,192,780	6,998	36	2,088

(単位:百万円)

区 分	ストック内訳							備 考
	物品	無形固定資産	出資金	未払金	賞与引当金	公的年金預り金	退職給付引当金	
物にかかるコスト	79	25	-	-	-	-	-	
庁舎等	-	-	-	-	-	-	-	
(1) 老後生活の経済的自立の基礎となる所得保障の充実を図ること	-	26,398	763,695	△ 7,780,315	△ 256	△ 120,758,887	△ 5,212	
合 計	79	26,424	763,695	△ 7,780,315	△ 256	△ 120,758,887	△ 5,212	

※「物にかかるコスト」及び「庁舎等」の区分に当てはめられている「物品」・「無形固定資産」、「土地」・「立木竹」及び「建物」・「工作物」は、特定の政策に結びつけることが困難なため、

定員数により、当該政策に配分を行っている。

3. 参考情報

(1) 当該政策に関連するコストの状況

① 当該政策に配分された官房経費等の額

(単位:百万円)

I 人にかかるコスト	183
II 物にかかるコスト(庁舎等を含む。)	674
III その他事業コスト	-
合 計	857

② 当該政策に配分された当年度の公債にかかる利払費

(単位:百万円)

利払費	1,304,647
-----	-----------

・省庁別財務書類の公債関連情報として記載されている利払費が、一般会計における政策ごとの「政策にかかるコスト」と「当該政策に配分された官房経費等」を合算したコストを基準として当該政策に配分された場合の額である。

(2) 政策の概要

老後生活の経済的自立の基礎となる所得保障の充実を図ること、高齢者の雇用就業を促進すること。

(3) 共通経費配分の方法

「人にかかるコスト」、「物にかかるコスト」及び「庁舎等」については、定員数による配分を行っている。また、本省に一括して計上されている一部の人件費については、定員数により地方局・外局へ配分を行っている。

(4) その他

なし。